

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために
令和3年度市民による市政評価
ご協力のお願い

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和 3年 4月
大仙市長 老 松 博 行

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例) 5 4 3 2 1

(例)

1. 電車	2. バス
3. 自家用車	4. 徒歩
⑤. その他(友人の車での送迎)	

ご記入いただいたこの調査票は、**5月18日(火)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線233) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらないとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらないとも	2 ではあまり重要	1 重要ではない
	〈記入例〉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
I 魅力ある産業のまちを創ります！ 産業振興・雇用など	① 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

新規就農者数	H27～R1の累計 113人
農業産出額	H26 183億8千万円 → H30 232億7千万円
製造品出荷額等	H26 6,469千万円 → R1 7,279千万円
新規雇用創出数※1	H27～R2の累計 578人
新規誘致企業数	H27～R2の累計 10社
創業者数	H27～R2の累計 74人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → R1 9億99百万円
観光入込客数	H26 2,631千人 → R1 2,521千人
Aターン就職者数※2	H27～R1の累計 360人

※1 雇用助成金交付人数

※2 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅱ みんなの元気を応援します！ （出会い・結婚・子育て、健康・福祉など）	① 【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

結婚相談会や出会いイベントの提供数※1	H27～R1の累計	102件
不妊治療による出産数	H27～R1の累計	97件
子育てサポート会員登録者数	H27	81人 → R2 87人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27	21箇所 → R2 32箇所
特定健康診査受診率	H27	39.1% → R1 40.8%
介護予防いきいき隊要請者累計数	H27	106人 → R2 113人
物忘れ相談プログラム体験者数	H27	340人 → R2 301人
全国500歳野球大会参加チーム数※1	R1	32チーム
スポーツ合宿実施数※1	H27	15団体 → R1 26団体

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度の実績はなし。

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちら もない	2 やや不 満	1 不 満	5 重 要	4 やや 重要	3 い ち ち ら い も	2 で あ ま り 重 要	1 重 要 で は な い
Ⅲ 住みよいまちを 安全・安心、都市整備 します！	① 【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦ 【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧ 【上・下水道】 浄水場・水道施設や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨ 【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

自主防災組織の組織率

H26 67.5% → R2 91.5%

地域公共交通利用状況

地域の実情に合わせて6システム 51路線を運行

R2実績 循環バス 11,277人 コミュニティバス 34,450人 乗合タクシー 13,129人

市ホームページ閲覧数

H26 64万9千人 → R2 242万7千人

都市計画道路整備率

H26 59.8% → R2 62.0%

住宅リフォーム支援制度利用件数

H28～R2の累計 2,096件

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、 芸術・文化など	① 【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R2 60人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R2 8人
学校のトイレ洋式化改修率	H27 73.0% → R2 86.7%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R2 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数※3	H27 116,772人 → R2 38,565人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R2 218団体
国内友好交流都市との交流※3	H27 8回 → R2 1回
自治体間による交流団体数	R2現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校種による連携。

※3 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施が困難だった取組。

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
V 時代に合った地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など	① 【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和3年4月1日現在】

地域枠予算（市民主導型）活用数※1	H27 73件 → R2 60件
地域おこし協力隊員数	H27 1人 → R2 5人
本市への移住者数※2	R2 405人
本市への移住相談件数	H28 42件 → R2 161件
市職員数	H27 992人 → R2 842人
ふるさと納税寄付額	H27 9,013千円 → R2 162,061千円
財政力指数※3	H27 0.342 → R2 0.354
将来負担比率※4	H27 136.9% → R1 127.5%
全会計市債現在高	H27 99,175百万円 → R1 89,920百万円

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施が困難だった取組。

※2 R2年度から移住者の定義を見直し。

移住者：大仙市への転入者の内、転入後5年以上大仙市へ住む意思のある定住希望者

※3 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。財政力指数が高いほど財政力が強いことを示す。

※4 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

問1 あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営の推進 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業への支援 |
| 9. 若者の起業支援 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用・就労への支援 | 14. 外国人を含む観光誘客の推進 |
| 15. その他() | |

問2 あなたが「出会い・結婚・子育て分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの開催 |
| 3. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 4. 検診相談等の母子保健事業の充実 |
| 5. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 6. 子育て支援サービスの充実 |
| 7. 保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の実施 | 12. ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 13. その他() | |

問3 あなたが「健康福祉・スポーツ分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくりの推進 | 2. こころの健康づくりの推進 |
| 3. 地域医療体制の整備 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの推進 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の整備 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な実施 |
| 13. スポーツ活動への支援 | 14. スポーツ環境の整備 |
| 15. その他() | |

問4 あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 新エネルギー導入の推進 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策の推進 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保 |
| 7. 地域の防災体制の整備 | 8. 水害対策設備の整備 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪施設の整備 |
| 11. 空き家の管理と利活用の推進 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の推進 |
| 15. その他() | |

問5 あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備促進 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 住宅環境の整備 | 8. 住宅耐震化率向上の推進 |
| 9. 市内の情報網、通信網の整備 | 10. 地域情報化の推進 |
| 11. 安全で安定した水道水の供給 | 12. 下水道施設の整備 |
| 13. 下水道未普及地区の解消 | 14. 水道事業の適正な実施 |
| 15. その他() | |

問6 あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育の推進 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 家庭教育の推進 | 4. 学校施設の整備 |
| 5. ふるさと教育の推進 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. 生涯学習支援体制の充実 | 8. 学びを生かす生涯学習の推進 |
| 9. 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 10. 芸術、文化活動の振興 |
| 11. 文化財の保護保全・整備と活用 | 12. 非核平和の啓発 |
| 13. 他自治体との連携・交流 | 14. 国際交流の促進 |
| 15. その他() | |

問7 あなたが「地域活性化・市民との協働・行政運営分野」で、さらに推進すべきであると考え
る取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用の推進 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加の機会拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動への支援 |
| 5. 地域独自の活性化への支援 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住への支援 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の推進 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供と公開 | 12. 効果的・効率的な行政運営 |
| 13. 公共施設の見直し | 14. 公文書館の利用促進 |
| 15. その他() | |

3 あなたが思う大仙市について

問1 あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 生まれてからずっと住んでいる |
| 2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た |
| 3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た |

問2 大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

問4 あなたは、ここ1年間で仕事以外で社会活動や地域活動(自治体活動、PTAでの活動、花植え、草刈り、ゴミ拾いなどの環境保全活動、見守り活動など)に参加しましたか。
あてはまる番号 1つに ○をつけてください。

1. 参加した
活動の内容(

2. 参加していない
)

問5 10年後、あなたが大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介したいですか。

「1つだけ選ぶとしたら」と考えたとき、あなたの考えに最も近い番号 1つに ○をつけてください。

1. 四季折々の豊かな自然があるまち
3. 花火のまち
5. 文化や歴史の豊かなまち
7. 高齢者が健康で楽しく暮らせるまち
9. 犯罪や自然災害の少ない安全なまち
11. みんなが地域のために活動しているまち
13. その他(

2. 美味しいお酒や食べ物があるまち
4. 面白いお祭りやイベントがあるまち
6. 教育が充実し学力水準が高いまち
8. 子どもが楽しく安全に暮らしているまち
10. 地域の人々の絆があるまち
12. 観光客や移住者を快く受け入れるまち
-)

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・要望等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、幅広い市民の皆さまのご意見をお伺いし、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えくださいますようご協力をお願いいたします。

テーマ1 健幸まちづくりプロジェクトについて

市では、人生100年時代を迎えた今、市民の皆さんが自分らしくいきいきと活躍し、人と地域が元気になる新たな取組として、令和2年10月1日にタニタグループとの連携による「健幸まちづくりプロジェクト」をスタートしました。

このプロジェクトは、全市民及び市内に通勤する方を対象として、歩くことを基本に、無理なく楽しみながら取り組むことができるプログラムを通じ、市民の皆さんの健康づくりを応援するもので、令和3年4月20日現在の参加者は14,022人となっています。

この調査では、市民の皆さんからプロジェクトの参加・活動状況やご意見を伺い、より多くの方からご参加いただけるよう、参加の拡大と継続に資する取組を推進していくための参考とさせていただきます。

問1 あなたは、健康づくりに関心がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
※健康づくりには「運動・休養・栄養」の3つのバランスが大切とされています。

1. ある 2. ややある 3. あまりない 4. ない

問2 あなたは、「健幸まちづくりプロジェクト」に参加していますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 参加している → 問3へ 2. 参加していない → 問7へ

問3 問2で「1.参加している」と答えた方にお聞きします。
活動量計(愛称:うおーくん)を継続的に携行していますか(携行時間は問いません)。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|---------|
| 1. 毎日 | } → 問4, 5へ | 4. 月に数日程度 | } → 問6へ |
| 2. 週に4～5日程度 | | 5. ほぼ携行していない | |
| 3. 週に2～3日程度 | | 6. 携行していない | |

問4 問3で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。
「健幸スポット」と「ロッピー」をどのくらい利用していますか。
あてはまる記号それぞれ1つに○をつけてください。

※健幸スポット : 体重や体脂肪率などを測定できる体組成計や血圧計が設置されている場所。市庁舎や公民館、郵便局など市内58か所に設置。

※ロッピー : ローソンにある決済端末。活動量計のデータ送信のみ可能。

		利用頻度		
健幸 ス ポ ッ ト	歩数の送信	1. ほぼ毎日 4. ほぼ利用していない	2. 週に2～3回程度 5. 利用したことがない	3. 月に数回程度
	体組成計	1. ほぼ毎日 4. ほぼ利用していない	2. 週に2～3回程度 5. 利用したことがない	3. 月に数回程度
	血圧計	1. ほぼ毎日 4. ほぼ利用していない	2. 週に2～3回程度 5. 利用したことがない	3. 月に数回程度
ロッピー		1. ほぼ毎日 4. ほぼ利用していない	2. 週に2～3回程度 5. 利用したことがない	3. 月に数回程度

→ 問5へ

問5 問3で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。

「からだカルテ」を利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※からだカルテ：(株)タニタヘルスリンクで提供している健康管理のためのウェブサイト。歩数や体重、血圧などを確認でき、健康状態の「見える化」により自身の健康管理に役立てることができます。

1. 日常的に利用している
2. 時々利用している
3. 利用方法がわからないため利用していない
4. スマートフォンやパソコンを持っていないため利用していない
5. からだカルテを知らなかったため利用していない
6. 利用していない、またはほとんど利用していない(選択肢3～5以外の理由)

→ 問8へ

問6 問3で「4」～「6」と答えた方にお聞きします。

活動量計(愛称:うおーくん)の携行頻度が低い理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 面倒だから | 2. 忘れるから |
| 3. 他の機器を使用しているから | 4. 故障等で使用できないため |
| 5. プロジェクトの内容に魅力を感じないから | 6. 携行しても健康意識等に変化がないから |
| 7. その他(|) |

→ 問8へ

問7 問2で「2.参加していない」と答えた方にお聞きします。

健幸まちづくりプロジェクトに参加していない理由は何ですか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 活動量計を携行するのが面倒だから
2. プロジェクトの内容がわかりづらいから
3. プロジェクトの内容に魅力を感じないから
4. 活動量計等に個人情報登録したくないから
5. スマートフォンや他の機器で歩数を確認できているから
6. 病気等で運動制限があるから
7. 歩くこと以外の運動を行っているから
8. プロジェクトそのものを知らなかったから
9. その他(

)

問8 どのような取組があれば参加したいと思いますか。また、継続して参加したいと思いますか。

あてはまる番号3つまでに○をつけてください。(○は1～3つ)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. インセンティブ(景品など)の充実 | 2. 健幸ポイント付与対象項目の充実 |
| 3. 健幸スポットの増設 | 4. 運動教室やウォーキングイベントなどの実施 |
| 5. 市で実施している他事業との連携 | 6. ウォーキングコースの整備 |
| 7. 健康食に関する取組 | 8. 参加者の取組状況などの周知 |
| 9. その他(|) |

テーマ2 市の文化財について

市には、県内唯一の国宝である「線刻千手観音等鏡像」や国指定重要文化財「古四王神社本殿」、国指定史跡「払田柵跡」、国指定名勝「旧池田氏庭園」など、数多くの指定文化財や貴重な文化遺産が伝承されており、一部は教育や観光などの分野で活用されています。

一方で、こうした文化財(※)は、担い手不足や価値の理解不足などにより散逸や消失の危機にさらされており、保護・保存の取組に加え、観光や地域活性化へのさらなる活用による価値や魅力の発信を通じ、伝承につなげていくサイクルの形成が重要となっています。

この調査では、市民の皆さんから文化財への関心などについてご意見を伺い、今後の文化財の維持や保存、さらなる活用に向けた取組の参考とさせていただきます。

※文化財には、有形・無形のほか国などから指定されている文化財に加え、指定はされていないものの、歴史的に価値のあるものも多数あります。ここでは、こうした歴史的資産をまとめて「文化財」と表記します。

【大仙市の指定文化財の状況】

令和3年3月31日現在

分類	国指定・登録	県指定	市指定	計
有形・無形文化財	18	31	104	153
○有形文化財とは、建造物、美術工芸品、歴史・考古資料等です。 ○無形文化財とは、芸能、工芸技術です。				
有形・無形民俗文化財	2	3	27	32
○有形民俗文化財とは、昔の人が着ていた衣装や使っていた道具など、当時の生活の様子を伝えるものです。 ○無形民俗文化財とは、衣食住や生業、年中行事等にちなみ伝承されてきた唄や踊り、習わしなどです。				
記念物	2	8	45	55
○記念物とは、史跡、名勝、天然記念物です。				
計	22	42	176	240

問1

あなたは、次の指定文化財を知っていますか。また、過去3年以内に見学したことがありますか。あてはまる記号それぞれ1つずつに○をつけてください。

指定文化財	知っていますか	見学したことがありますか
1. 線刻千手観音等鏡像	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
2. 古四王神社本殿	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
3. 刈和野の大綱引き	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
4. 払田柵跡	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
5. 旧池田氏庭園	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
6. 旧池田家住宅洋館	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
7. 強首樅峰苑(旧小山田家住宅)	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
8. 秋田県立農業科学館曲屋	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
9. 奥田酒造店店舗兼主屋	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
10. 旧本郷家住宅	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
11. 鈴木酒造店事務所兼主屋など	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
12. 秋田南外の仕事着	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
13. 唐松神社(奥殿・スギ並木)	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
14. 星宮遺跡出土土偶(遮光器土偶)	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
15. 鈴木空如筆法隆寺金堂壁画模写	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ

問2 あなたは、文化財に関心がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある
2. ややある } → 問4へ

3. あまりない
4. ない } → 問3へ

問3 問2で「3.あまりない」、「4.ない」と答えた方にお聞きます。
関心がない理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 歴史をよく知らないから | 2. どのような価値があるのかわからないから |
| 3. 魅力を感じないから | 4. 自分の生活に関わりがないから |
| 5. その他() | |

問4 文化財を保存し、活用する取り組みについてどう思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 重要である | 2. どちらかと言えば重要である |
| 3. どちらかと言えば重要ではない | 4. 重要ではない |

問5 文化財に関連するイベント等の中で、参加してみたいと思うものは何ですか。
あてはまる番号3つまで○をつけてください。(○は1～3つ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 文化財を巡るガイドツアー | 2. 文化財のパネル展示 |
| 3. 文化財に関する講座 | 4. 文化財で行われる音楽会等のイベント |
| 5. 文化財について話し合う討論会やセミナー | 6. 文化財を題材にした写真等のコンテスト |
| 7. 土器づくりなどのワークショップ | 8. 伝統芸能などの発表会 |
| 9. その他() | |
| 10. 特になし | |

問6 文化財を保存・活用することについて、課題だと思うことは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 文化財を守る、または活用する担い手の確保 |
| 2. 文化財を守る、または活用するための労力と経費の確保 |
| 3. 文化財を守る、または活用するという市民意識の向上 |
| 4. 文化財の価値や魅力の発信 |
| 5. その他() |
| 6. 特になし |

テーマ3 市民のデジタル活用について

スマートフォンの普及や情報通信技術の向上、インターネットサービスの充実などによる近年のデジタル化の進展に加え、このたびの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、移動しなくても会議を行えるオンライン会議や、自宅に居ても働けるテレワークなど、デジタルを活用した新しい生活スタイルが急速に普及しています。

こうした中、市では、人口減少社会にあっても質の高い行政サービスを継続するため、「行かなくて済む『市役所』」の実現を目指し、行政事務の効率化を図りながら、行政手続きのデジタル化などＩＣＴ（情報通信技術）の効果的な導入を推進・検討しています。

一方で、パソコンやインターネット等の利用の有無により発生する情報格差が課題となっており、全ての市民の皆さんが等しくデジタル化の恩恵を受けられる「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に向けた対策が必要となっています。

この調査では、市民の皆さんのインターネットの活用状況や今後の利用の意向を伺い、市のデジタル化を推進していく上での参考とさせていただきます。

問 1

あなたは、仕事以外の生活の中でインターネットを利用していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 自宅のパソコンで利用している
2. タブレット端末で利用している
3. スマートフォンで利用している
4. フィーチャーフォン(ガラケー)で利用している
5. 図書館など公共施設の端末で利用している
6. 必要な時には家族にやってもらっている
7. 利用していない → 問3へ
8. その他(

→ 1つでも選択した場合は
問2-1, 2-2へ

問2-1

問1で「1」～「6」を1つでも選択した方にお聞きします。

現在、どのような目的で利用していますか。

あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. メールやSNS (LINE、Twitter、Facebookなど) での人とのコミュニケーション
2. 情報の検索 (googleやYahooなどでの調べもの)
3. ニュースや市のお知らせなどの情報受信
4. 地図情報提供サービスの利用 (道案内や地図上での場所確認など)
5. 生活に関する手続きや申込み (電子申告、オンライン申請など)
6. ネットショッピングやオークション
7. 音楽・動画配信サービスの利用 (Youtubeなど)
8. 店頭でのポイント受領やキャッシュレス決済
9. その他 (

問2-2 問1で「1」～「6」を1つでも選択した方にお聞きます。

どの程度の頻度で利用していますか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. ほぼ毎日 |
| 3. 週に2、3回程度 | 4. 週に1回程度 |
| 5. 月に数回程度 | 6. 年に数回以下 |

問3 インターネットを「利用している方」は今後新たに利用してみたいことは何ですか。
「利用していない方」は今後どのようなことに利用してみたいですか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. メールやSNS (LINE、Twitter、Facebookなど)での人とのコミュニケーション
2. 情報の検索 (googleやYahooなどでの調べもの)
3. ニュースや市のお知らせなどの情報受信
4. 地図情報提供サービスの利用 (道案内や地図上での場所確認など)
5. 生活に関する手続きや申込み (電子申告、オンライン申請など)
6. ネットショッピングやオークション
7. 音楽・動画配信サービスの利用 (Youtubeなど)
8. 店頭でのポイント受領やキャッシュレス決済
9. その他 ()
10. 特に利用したいと思わない

問4 インターネットを「利用していない方」はその理由は何ですか。
「利用している方」は利用していて不安や不満なことはありますか。

あてはまる番号**3つまでに**○をつけてください。(○は1～3つ)

1. 利用料金や利用するための機器などが高いこと
2. 契約プランや手続きなどがわかりにくいこと
3. パソコンなどの機器の操作が難しいこと
4. 利用方法などを教えてくれる人が近くにいないこと
5. 利用したいサービスや必要な情報がないこと
6. 個人情報の流出や詐欺などの犯罪被害への不安
7. ウイルス感染への不安
8. 違法・有害情報が氾濫していること
9. 情報の信ぴょう性への不安
10. 誹謗中傷やコミュニケーション相手とのトラブルの不安
11. その他 ()
12. 必要なときは家族に頼めるので問題ない
13. 特になし

テーマ4 家庭での災害への備えについて

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から10年が経過し、市民の皆さんの防災意識は、震災当時と比べると大きく高まっていますが、一方で、時の経過とともに記憶が風化し、防災意識が低下していくことが懸念されています。

また、大震災以降も全国各地で自然災害が頻発しており、いつ発生するかわからない災害に対して、自身や家族の身を守っていくためには、日頃の各家庭や地域における防災対策の重要性が認識されています。

この調査では、市民の皆さんが各家庭で行っている防災対策や備蓄の状況等について伺い、防災意識の向上を図っていくための参考とさせていただきます。

問1 生活の中で心配に思う災害は何ですか。

あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1～3つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 地震 | 2. 水害(大雨による洪水など) |
| 3. 土砂災害(崖崩れなど) | 4. 強風 |
| 5. 大規模火災 | 6. 大雪 |
| 7. 猛暑 | 8. 感染症 |
| 9. その他() | 10. 特になし |

問2 災害に対して各家庭で何か備えていることはありますか。

あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------|-----------|-------|
| 1. 備えている | → 問3へ | 2. 備えていない | → 問7へ |
|----------|-------|-----------|-------|

問3 問2で「1.備えている」と答えた方にお聞きます。

具体的にどのような備えをしていますか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------------|---|---------------------------------|
| 1. 災害に備えた備蓄(非常食、生活必需品など) | → | { 選択した場合は問4,5へ
選択しなかった場合は問6へ |
| 2. 避難場所・避難ルートの確認 | | |
| 3. 災害情報入手方法の確認(スマホ、ラジオなど) | | |
| 4. 安否確認方法、連絡方法の確認 | | |
| 5. 地震保険等の加入 | | |
| 6. 預金通帳などの貴重品の持ち出し準備 | | |
| 7. 家具などの固定や整理 | | |
| 8. 消火器など消火設備の設置 | | |
| 9. お風呂などでの水のため置き(生活用水の確保) | | |
| 10. はしごやロープなど避難用具の準備 | | |
| 11. 家屋や塀などの補強、改修 | | |
| 12. ヘルメットや防災ずきんの準備 | | |
| 13. その他() | | |

問4 問3で「1.災害に備えた備蓄」を選択した方にお聞きします。

備蓄品はどのような品目を準備していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------|
| 1. 飲料水 | 2. 主食(レトルトご飯、パンなど) | 3. 副食(缶詰など) |
| 4. 栄養補助食品や菓子類 | 5. 医薬品 | 6. トイレトペーパー |
| 7. 救急用品(絆創膏、包帯など) | 8. 携帯トイレ | 9. 生理用品 |
| 10. 消毒用アルコール | 11. マスク | 12. オムツ |
| 13. 離乳食、ミルク | 14. 懐中電灯 | 15. マッチ、ライター |
| 16. カセットコンロ | 17. ラジオ | 18. 電池 |
| 19. 携帯電話の予備バッテリー | 20. 衣類 | 21. 発電機 |
| 22. 防寒用品(毛布やカイロなど) | 23. 石油ストーブ | 24. 燃料(灯油など) |
| 25. その他() | | |

問5 問3で「1.災害に備えた備蓄」を選択した方にお聞きします。

備蓄品は何日分準備していますか。あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

※ 災害時には救援物資が被災地に届くまで時間を要することから、最低でも3日分、できれば1週間程度、各家庭における食料品や生活必需品を備蓄することが推奨されています。

食料品類	1. 1日分	2. 2日分	3. 3日分
	4. 4～6日分	5. 1週間分以上	
生活必需品類	1. 1日分	2. 2日分	3. 3日分
	4. 4～6日分	5. 1週間分以上	

→ 18ページへ

問6 問3で「1.災害に備えた備蓄」を選択しなかった方にお聞きします。

災害に備えた備蓄をしていない理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 何をどの程度備えればよいかわからないから |
| 2. 備蓄品を置く場所がないから |
| 3. 手間がかかり面倒だから |
| 4. 備蓄品を購入する経済的な余裕がないから |
| 5. 忙しく時間がないから |
| 6. 停電・断水等が数日続くような災害は来ないと思うから |
| 7. 自治体が必要な備蓄をしているから |
| 8. 被災していない自治体や個人などから救援物資が届くから |
| 9. 地域等で共同備蓄をしているから |
| 10. その他() |

→ 18ページへ

問7 問2で「2.備えていない」と答えた方にお聞きします。

災害への備えをしていない理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. どのようなことを行えばよいかわからないから | 2. 何から始めればよいかわからないから |
| 3. 市や消防、地域の人などが助けてくれると思うから | 4. 面倒だから |
| 5. お金がかかるから | 6. 時間がなく、つい先延ばしにしてしまうから |
| 7. 大きな災害は起こらないと思っているから | 8. やっても意味がないから |
| 9. その他() | |

■あなたご自身のことについてお伺いします。

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 無回答
-------	-------	--------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 18・19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳
9. 75～79歳	10. 80歳以上		

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 大曲地域	2. 神岡地域	3. 西仙北地域	4. 中仙地域
5. 協和地域	6. 南外地域	7. 仙北地域	8. 太田地域

- ・あなたの同居の家族構成を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 単身世帯	2. 夫婦世帯	3. 二世世代世帯(親と同居)
4. 二世世代世帯(子と同居)	5. 三世世代以上の世帯	6. その他()

- ・あなたは現在結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 結婚している(事実婚等を含む)	2. 独身(離婚・死別含む)
--------------------	----------------

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月18日(火)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために 令和3年度市民による個別事業評価 ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市政運営の基礎資料とさせていただくための「市政評価」に加え、個別の事業や施策を対象とする「個別事業評価」を毎年実施しています。

この「個別事業評価」は、市が実施している個別の事業等に対して、市民の皆さまから評価やご意見をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、事業等の推進や見直し、新たな施策の立案に向けた大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和3年4月

大仙市長 老松博行

回答にあたって

- ◆このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上40歳未満（令和3年4月1日現在）の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に800人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方で、可能であれば40歳未満の方）がお答えいただいても結構です。
- ◆ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆このアンケートの結果は、後日（秋頃を予定）市のホームページや広報にて公表します。

回答方法について

次のどちらかの方法により、**5月18日（火）まで**に、ご回答いただきますようお願いいたします。

1. 調査票による回答

同封している調査票に直接ご記入いただき返信用封筒に入れてご投函ください。

2. インターネットによる回答

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。

回答方法の詳細は別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

◆ URL

https://s-kantan.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=1573

◆ 二次元

バーコード



【お問い合わせ先】

企画部総合政策課政策調整班

電話：0187-63-1111（内線233） FAX：0187-63-1119

メール：sougou@city.daisen.lg.jp

大仙市の将来のために 令和3年度市民による個別事業評価 ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市政運営の基礎資料とさせていただくための「市政評価」に加え、個別の事業や施策を対象とする「個別事業評価」を毎年実施しています。

この「個別事業評価」は、市が実施している個別の事業等に対して、市民の皆さまから評価やご意見をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、事業等の推進や見直し、新たな施策の立案に向けた大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和3年4月

大仙市長 老 松 博 行

回答にあたって-----

- ◆このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上40歳未満（令和3年4月1日現在）の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に800人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方で、可能であれば40歳未満の方）がお答えいただいても結構です。
- ◆ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆このアンケートの結果は、後日（秋頃を予定）市のホームページや広報にて公表します。

回答方法について-----

5月18日（火）までに、インターネットでご回答いただきますようお願いいたします。

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。

インターネットによる回答方法の詳細は、別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

◆ URL

https://s-kantan.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=1574

◆ 二次元バーコード



【お問い合わせ先】

企画部総合政策課政策調整班

電話：0187-63-1111（内線233） FAX：0187-63-1119

メール：sougou@city.daisen.lg.jp

大仙市の将来のために 令和3年度市民による個別事業評価 調査票

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例)

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 電車 | 2. バス |
| 3. 自家用車 | 4. 徒歩 |
| ⑤. その他(友人の車での送迎) | |

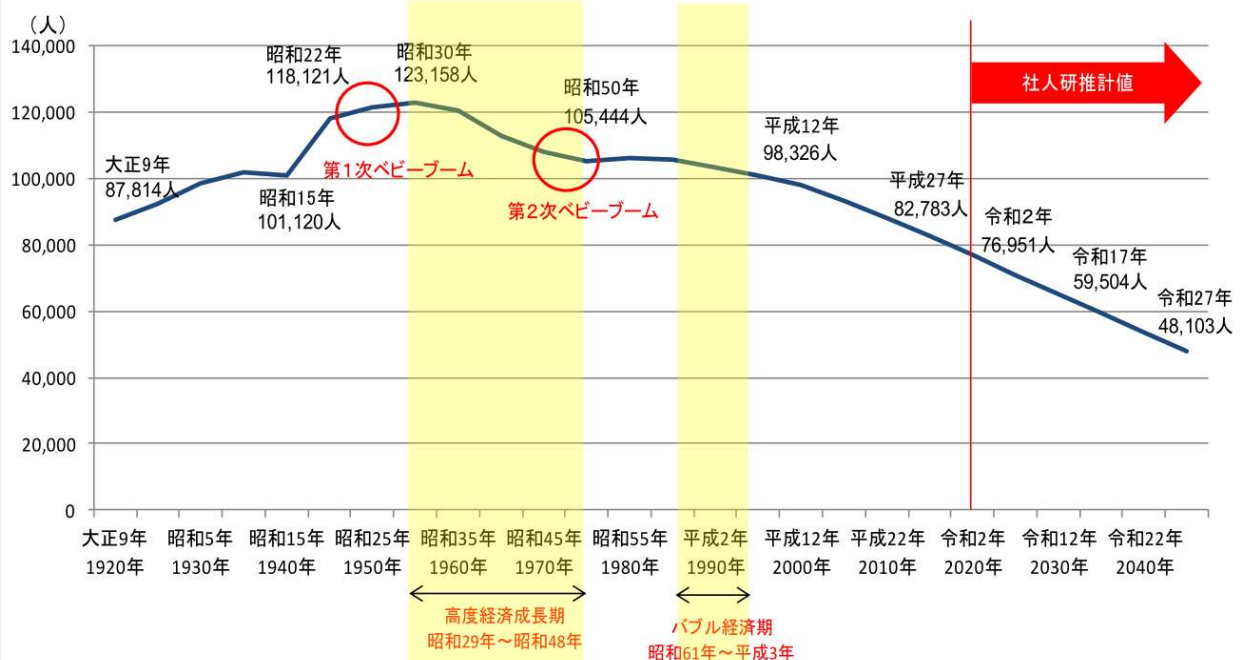
若い世代のチャレンジについて

大仙市の人口は、昭和30年の約12万3千人をピークに年間約1千人のペースで減少しています。国立社会保障・人口問題研究所が行った将来人口の推計では、令和27年には4万8千人になるものと推計されており、人口減少に伴い産業や地域経済の衰退、地域コミュニティの維持が困難となるなど、多方面への影響が懸念されています。

こうした状況を踏まえ、市では令和2年3月に「第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「人口減少の抑制」と「地方創生の実現」に向け様々な施策に取り組んでいます。その施策のひとつとして、「若者がチャレンジできる環境づくり」を進めており、若い世代の夢を叶える創業支援の推進や新規就農者の育成、雇用促進等を図るとともに、地域の課題解決や活性化に向けた市民活動を応援する地域枠予算の確保、出会い・結婚・出産・子育てまで切れ目のない一貫した支援体制の構築などに取り組んでいます。

この調査では、夢や希望の実現に向けてチャレンジする若い世代の皆さんを応援する具体的な方法を検討するため、皆さんからご意見をお伺いします。

【大仙市の人口推移】



(資料)総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口」

■ 属性について

問1 あなたの性別について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢(令和3年4月1日現在)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地域について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 |
| 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 |
| 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

問4 あなたの職業について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|----------------------|
| 1. 正規社員・職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 派遣・契約社員 | 4. 自営業主・家族従業者(農林業含む) |
| 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他() |

問5 あなたは現在結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 結婚している(事実婚等を含む) | 2. 独身(離別・死別含む) |
|--------------------|----------------|

■ あなたの日常生活の現状とあなたが思う大仙市について

問6 あなたは、次の項目について、日常生活でどのくらい満足していますか。また、どのくらい大切(重要)であるとお考えですか。「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつに○をつけてください。

設問項目	満足度					重要度				
	5 満足	4 まあ満足	3 いど えち ないとも	2 やや不 満	1 不満足	5 重要	4 やや重要	3 いど えち ないとも	2 であ まり ない重要	1 重要 ではない
家族とのふれあい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
経済的な豊かさ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
スポーツ・健康づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
趣味などの余暇の時間	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
身近な人との付き合い	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
夢や目標の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
社会(地域)貢献活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
社会的地位や評価	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
仕事や勉強	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問7 あなたは、今後も大仙市に住み続けたいと思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |

問8 あなたは、大仙市に住んでいてよかったと思うことがありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 買い物などの日常生活が便利 | 2. 教育環境が良い |
| 3. 子育て支援が充実している | 4. 交通の便が良い |
| 5. 子どもの遊び場や公園などが充実している | 6. スポーツ施設が充実している |
| 7. 病院など医療体制が充実している | 8. 自然が豊か |
| 9. まちの雰囲気・イメージが良い | 10. 公共施設が充実している |
| 11. 地域のつながりが良い | 12. 楽しめるイベントが多い |
| 13. 誇れる特産品が多い | 14. 魅力的な文化財や伝統行事などがある |
| 15. 雪対策が充実している | 16. 防災体制が充実している |
| 17. その他() | 18. 特になし |

問9

あなたは、大仙市に住んでいて困ったと思うこと(悪い点)がありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 買い物などの日常生活が不便 | 2. 教育環境が悪い |
| 3. 子育て支援が充実していない | 4. 交通の便が悪い |
| 5. 子どもの遊び場や公園などが充実していない | 6. スポーツ施設が充実していない |
| 7. 病院など医療体制が充実していない | 8. 自然が多すぎる |
| 9. まちの雰囲気・イメージが悪い | 10. 公共施設が充実していない |
| 11. 地域のつながりが悪い | 12. 楽しめるイベントが少ない |
| 13. 誇れる特産品が少ない | 14. 魅力的な文化財や伝統行事などがない |
| 15. 雪対策が充実していない | 16. 防災体制が充実していない |
| 17. その他() | 18. 特になし |

■ 仕事に関する内容について

問10

あなたが思う理想の就職方法について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 自ら起業して、事業主として働く | → 問11へ |
| 2. 会社など事業所の被雇用者として働く | → 問12へ |
| 3. 自営業や農林業など、家族の後を継いで働く | } → 問13へ |
| 4. その他() | |

問11

問10で「1.自ら起業して、事業主として働く」と答えた方にお聞きします。

起業の実施状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. すでに起業している
2. これから起業する予定
3. 家族の理解や資金など準備が整ったら起業する予定
4. 起業するかどうか悩んでいる
5. 起業はしない
6. 起業したが、現在は別の事業所等で勤務している
7. その他()

問12

問10で「2.会社など事業所の被雇用者として働く」と答えた方にお聞きします。

あなたが思う理想の雇用形態について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 終身雇用で定年まで同じ会社等で働く
2. 正社員・職員として会社等に所属しながら、副業も行う
3. そのときの事情に合わせて、やりたい仕事に転職する
4. その他()

問13 あなたが思う理想の働き方について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 決まった就業時間で会社等に出勤し働く
2. 勤務時間を選べる環境で会社等に出勤し働く
3. リモートワークなどで自宅や地元、地方で働く
4. その他()

■ まちづくりへの参加について

問14 あなたは、市のまちづくりや地域の活動に関して意見を述べる機会や参加する機会があれば参加したいですか。あてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

意見を述べる機会	1. すでに参加している 2. 積極的に参加したい 3. 参加したい	4. あまり参加したくない 5. 参加したくない	} 問15へ } 問16へ
まちづくり活動	1. すでに参加している 2. 積極的に参加したい 3. 参加したい	4. あまり参加したくない 5. 参加したくない	} 問15へ } 問16へ

問15 問14で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。
 具体的にどのような分野で参加していますか。または、参加したいと思いますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

意見を述べる機会	1. 農林業 4. 出会い・結婚 7. 医療 10. 環境 13. インフラ 16. 芸術・文化 19. 地域活性化	2. 商工業 5. 子育て 8. 社会福祉 11. 防災 14. 学校教育 17. 文化財 20. 男女共同	3. 観光 6. 健康づくり 9. スポーツ 12. 地域情報化 15. 生涯学習 18. 地域間・国際交流 21. その他()
まちづくり活動	1. 農林業 4. 出会い・結婚 7. 医療 10. 環境 13. インフラ 16. 芸術・文化 19. 地域活性化	2. 商工業 5. 子育て 8. 社会福祉 11. 防災 14. 学校教育 17. 文化財 20. 男女共同	3. 観光 6. 健康づくり 9. スポーツ 12. 地域情報化 15. 生涯学習 18. 地域間・国際交流 21. その他()

■ 今後チャレンジしたいことについて

問16 あなたが今後チャレンジしてみたい、または新たに始めてみたいと思うことはどのようなことですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 新規創業、独立起業 | 2. 希望する職業に就くための資格取得 |
| 3. スポーツなどのプロ活動へのチャレンジ | 4. イベント開催などのまちづくり活動 |
| 5. ボランティア・社会奉仕活動やNPO等の設立 | 6. 国際交流や留学などの海外活動 |
| 7. その他 (|) |
| 8. 特になし | → 問18へ |

問17 問16で「8.特になし」以外を選択した方にお聞きします。
問16のチャレンジや新たなことを始めるにあたり、不安なことや障壁となると考えられるものはどのようなことですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 資金不足 | 2. 知識・ノウハウ・経験不足 |
| 3. 情報不足 | 4. 仲間との交流の場の不足 |
| 5. 家族の理解・協力不足 | 6. 仕事との両立 |
| 7. プライベートの確保 | 8. 地域の理解 |
| 9. 活動内容の成否 | 10. 失敗したときのリスク |
| 11. その他 (|) |
| 12. 特になし | |

■ 若い世代のチャレンジへの支援について

問18 若い世代のチャレンジを応援するための支援や取組としてどのようなものが必要だと思いませんか。あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1～3つ)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. 創業に関する支援の充実 | |
| 2. 若い世代の意見を聞く場(若者会議など)の開催 | |
| 3. 地域の理解促進や資金提供など若い世代がチャレンジしやすい環境の整備 | |
| 4. 若い世代などの後継者育成の支援 | |
| 5. 同じチャレンジ意欲を持つ若い世代の人などとのマッチング支援 | |
| 6. 若い世代のチャレンジを支援する新しい補助制度等の創設 | |
| 7. その他 (|) |

問19 若い世代のチャレンジへの支援についてご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月18日(火)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。